



### アンダースローとレパトリー

〈アンダースロー〉は元ライブハウスをリノベーションして2013年に開場した地点の稽古場兼アトリエです。演出家と俳優の集団である地点は、書かれた時代も地域もさまざまなテキストから演劇作品を立ち上げています。アンダースローでつくられた作品は、〈レパトリー〉として、初演の後も繰り返し上演されています。世相の変化によってひとつの言葉がまた異なった色あいを帯びることを楽しみたい、上演を重ねることで作品世界を深めていきたい、という思いから、大事に育ててきた作品群です。演目によってがらっと変わるアンダースローの空間丸ごと、お楽しみいただければ幸いです。

『地下室の手記』



『ファッツァー』

『ブレヒト売り』

地点 | Chiten | 既存のテキストを独自の手法によって再構成・コラージュして上演する。俳優の声と身体を通した劇空間の造形には定評がある。言葉の抑揚やリズムをずらす独特の発語は「地点語」とも言われ、意味から自由になることでかえって言葉そのものを剥き出しにする手法はしばしば音楽的と評される。代表は演出の三浦基。所属俳優は現在6名おり、すべての作品に出演している。ロンドン・グローブ座からの依頼で初のシェイクスピア作品『コロレオナス』の上演を成功させるなど、海外での評価も高い。2017年、イブセン作『ヘッダ・ガブラー』で読売演劇大賞作品賞受賞。(法人名：合同会社地点)